



令和6年度

陽光小だより

令和6年9月30日

◇学校教育目標 合言葉◇

よく学び
やさしく元気な
太陽の子

陽光小学校長 岡村 裕一

感謝の気持ちを伝えました ～陽光地区敬老会での作文発表～

9月14日(土)の陽光地区敬老会において、6年生の熊倉 南弥さんと、早乙女 奈央さんが、高齢者の皆さんに日頃の思いをつづった作文を読み上げました。2人の作文には、スクールガードや農園ボランティアの皆さん、地域の方々に対する普段伝えられない感謝の気持ちが記されており、発表後には会場から温かな拍手をいただきました。お年寄りの皆様との交流を通し、子どもたちに感謝と思いやりの心が育っており、大変ありがたく思っております。いつまでもお元気で、これからも本校児童の育成にお力をお貸してください。



9月14日(土)の陽光地区敬老会において、6年生の熊倉 南弥さんと、早乙女 奈央さんが、高齢者の皆さんに日頃の思いをつづった作文を読み上げました。2人の作文には、スクールガードや農園ボランティアの皆さん、地域の方々に対する普段伝えられない感謝の気持ちが記されており、発表後には会場から温かな拍手をいただきました。お年寄りの皆様との交流を通し、子どもたちに感謝と思いやりの心が育っており、大変ありがたく思っております。いつまでもお元気で、これからも本校児童の育成にお力をお貸してください。

楽しかった陽光ウォークラリー ～縦割り班で児童会活動～

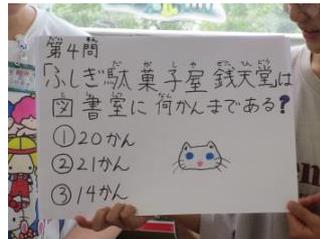
9月18日(水)の2・3校時に、企画委員会が中心となって児童会活動「陽光ウォークラリー」が開催されました。給食委員会の「豆つかみ」、図書委員会の「陽光小 本クイズ」など、各委員会が工夫を凝らした様々なゲームを用意し、24グループの縦割り班が各会場を巡りながら楽しい時間を過ごしました。各委員会とも、ゲームの運営に責任を持って取り組んでおり、頼もしさを感じました。また、縦割り班の中では、高学年の児童が低学年の児童に温かな声をかけながらリードする姿が見られ、微笑ましく感じるとともに、優しさや思いやりの心が成長していることを実感しました。今回の活動を通し、子どもたちは達成感を味わったり、協力することの大切さを学んだりすることができました。



【生き物委員会】
生き物クイズ



【給食委員会】
豆つかみ



【図書委員会】
陽光小 本クイズ



【放送委員会】
イントロクイズ



【健康委員会】
ペットボトルダーツ



【運動委員会】
ペットボトルボーリング



【国際ボランティア委員会】
さかなつり



【企画委員会】
陽光小に関するクイズ

今から収穫が楽しみ ～農園活動でダイコンの種まき～

9月3日(火)、農園ボランティアの方々とPTA陽光サポート部の方々にお世話になり、3・4年生がダイコンの種蒔きを行いました。子どもたちは、小さな種が重ならないように気を付けながら、1粒1粒丁寧に蒔いていきました。作業中は、収穫を楽しみにする声があちこちから聞こえ、子どもたちの期待感が伝わってきました。立派に育ってくれることを願っています。



心を合わせた発表会 ～今年度2回目の「ドレミファタイム」～

9月11(水)の昼休み、音楽クラブによるハンドベル演奏で「ドレミファタイム」がスタートしました。今回は、学年別の発表会です。2年生は「かっこう」の合奏を、5年生は「茶色の小びん」の合奏を、6年生は「ぼくらの日々」の合唱を行いました。各学年とも、しっかりと練習を重ねてきた成果が表れ、素晴らしい発表会となりました。発表会の後は全校児童による合唱です。体育館中に「ありがとうの花」の歌声が響き渡り、とても感動的な「ドレミファタイム」となりました。次回11月27日は、1年生・3年生・4年生の発表会です。



【音楽クラブのハンドベル】



【2年生の合奏】



【5年生の合奏】



【6年生の合唱】



【全校児童で合唱】

もしもの災害に備えて ～竜巻対応避難訓練～

9月12日(木)に竜巻を想定した避難訓練を行いました。子どもたちが校庭で遊んでいる業間に、「訓練、訓練。学校近くで竜巻が発生し、南の方から学校に近づいています。児童は直ちに活動をやめて安全な場所に避難し、身を守る姿勢を取ってください。」という緊急放送が流れました。放送を聞いた子どもたちはすぐに校舎等に駆け込み、避難体勢(だんごむしのような姿勢)を取りました。状況に応じて自ら判断し、行動する経験ができたことは、子どもたちにとって大変有意義でした。子どもたちの生命を守るため、様々な災害への備えを充実させていきます。



竜巻時の避難体勢(だんごむし)



スライドを見ながら訓練の振り返り

放送を聞いた子どもたちはすぐに校舎等に駆け込み、避難体勢(だんごむしのような姿勢)を取りました。状況に応じて自ら判断し、行動する経験ができたことは、子どもたちにとって大変有意義でした。子どもたちの生命を守るため、様々な災害への備えを充実させていきます。